

ユースケース創出のための大型実証 公募概要



※本内容は現時点での予定であり、変更される場合があります。提案前には、今後公開される「公募要領」を必ずご参照ください。

1. 事業コンセプト:

量子コンピューターのユースケース開発において、国際的な実装競争の先導および国内の産業基盤構築を目指し、本事業では、量子コンピューター(ゲート方式、アニーリング方式、および疑似量子コンピューターを含む)を用いた計算(サイバー)に留まらず、その結果を現実世界(フィジカル)で検証するプロセスを必須要件とした研究開発・実証を行います。

「現実世界(フィジカル)での検証」とは例えば、以下のような検証を想定しています。

- 素材や創薬分野では、量子計算によって予測・設計された新素材や化合物について、実際に合成・試作を行い、物性値の測定等を行う。
- 物流や製造分野では、量子計算によって導出した最適解に基づいて、実際の設備(車両や製造装置等)を動作させる等により、運用効果の測定を行う(模擬的な実証環境も可)。
- 産業保安分野では、量子計算による高精度な局所気象予測に基づき、産業現場における避難・防災設備の制御実証を行う。

2. 公募予定分野: 素材、製造、電力、モビリティ、交通、物流、産業保安、創薬 (創薬については、特定の薬の開発をする内容は対象外とする)

3. 事業形態: 補助事業(大企業1/2、中小企業2/3)

4. 事業規模: NEDO負担額最大26億円/3年度(NEDO負担1/2と仮定とすると、事業総額は約50億円)

5. 事業期間: 3年度(2026年度～2028年度)

6. その他: 実証を行う場所(工場、自治体フィールド等)は、提案者が自ら確保し、提案に含めてください。